

群馬県鉱工業指数 令和6年8月分

1. 公表内容

8月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、輸送機械工業、化学工業などが低下したことから、2か月ぶりのマイナスとなった。

○概況

生産、出荷、在庫はすべて低下で推移

◆8月の主な数値の動向（調査産業計）

（令和2年=100）

	季節調整済指数			原指数		
	総合指数	前月比(%)		総合指数	前年同月比(%)	
生産	99.2	▲9.9	2か月ぶり－	90.0	1.0	4か月連続＋
出荷	101.6	▲7.0	2か月ぶり－	89.7	▲2.1	2か月ぶり－
在庫	133.3	▲5.5	2か月連続－	137.3	▲16.2	11か月連続－
在庫率	126.2	▲2.0		133.3	▲13.9	

○生産指数は、季節調整済指数で、2か月ぶりのマイナス、原指数で、4か月連続のプラスとなった。

○出荷指数は、季節調整済指数で、2か月ぶりのマイナス、原指数で、2か月ぶりのマイナスとなった。

○在庫指数は、季節調整済指数で、2か月連続のマイナス、原指数で、11か月連続のマイナスとなった。

○総合指数前月比の伸び率（上昇又は低下）に影響を与えた主な業種

（）内は前月比

<生産>低下:輸送機械工業 (▲16.3%)、化学工業 (▲12.9%)

<出荷>低下:輸送機械工業 (▲10.5%)、業務用機械工業 (▲26.3%)

<在庫>低下:プラスチック製品工業 (▲45.3%)、食料品工業 (▲11.6%)

○前月比が最も大きかった業種

<生産>上昇:その他製品工業 (9.1%) / 低下:業務用機械工業 (▲35.6%)

<出荷>上昇:木材・木製品工業 (7.8%) / 低下:情報通信機械工業 (▲34.6%)

<在庫>上昇:輸送機械工業 (66.3%) / 低下:プラスチック製品工業 (▲45.3%)

2. 事業の概要

【目的】

県内の鉱業、製造業等の事業所における生産量、出荷量、在庫量の動態を調査し、指数化することにより、県内の産業活動の状況を総合的に把握し、景気動向の分析等のための基礎資料とする。

【作成方法】

令和2年（2020年）を基準年として、その鉱工業製品の1か月当たりの平均生産量、出荷量、在庫量を算出し、各品目の基準時ウェイトで加重平均して指数化する。

【各指数の品目数】

- ・生産指数・・・171品目
- ・出荷指数・・・164品目
- ・在庫指数・・・91品目
- ・在庫率指数・・・84品目

《参考事項》

- ・季節調整済指数…1年を周期として季節が要因となり起こる変動(季節変動)を取り除いた指数をいう。
- ・原指数…季節調整をしていない指数をいう。

3. 次回公表予定

令和6年11月20日予定

令和6年8月分

○総合指数前月比の伸び率に影響を与えた主な業種・品目

		業 種	前月比 寄与度	前月比%	寄与した主な品目	
生産	上昇	その他製品工業	0.2	9.1	マーキングペン	ボールペン
		鉄鋼業	0.1	4.8	特殊鋼熱間圧延棒鋼	鋼半製品
	低下	輸送機械工業	▲ 4.1	▲ 16.3	普通乗用車	シート
		化学工業	▲ 1.5	▲ 12.9	医薬品製剤	
出荷	上昇	電気機械工業	0.3	4.2	自然冷媒ヒートポンプ式給湯機	小型電動機
		食品工業	0.2	1.1	清涼飲料	アイスクリーム
	低下	輸送機械工業	▲ 3.8	▲ 10.5	普通乗用車	自動変速装置
		業務用機械工業	▲ 0.9	▲ 26.3	自動販売機	娯楽機器
		情報通信機械工業	▲ 0.8	▲ 34.6	ボタン電話装置	レーザプリンタ
在庫	上昇	生産用機械工業	0.7	6.4	シヨベル系掘削機械	研削盤
		輸送機械工業	0.3	66.3	普通乗用車	トレーラ
	低下	プラスチック製品工業	▲ 5.0	▲ 45.3	プラスチック製機械器具部品	
		食品工業	▲ 1.0	▲ 11.6	清涼飲料	アイスクリーム
		化学工業	▲ 0.7	▲ 1.9	医薬品製剤	

(注) 寄与した主な業種・品目の掲載順序は、上昇、低下とも寄与の大きい順である。一部秘匿あり。

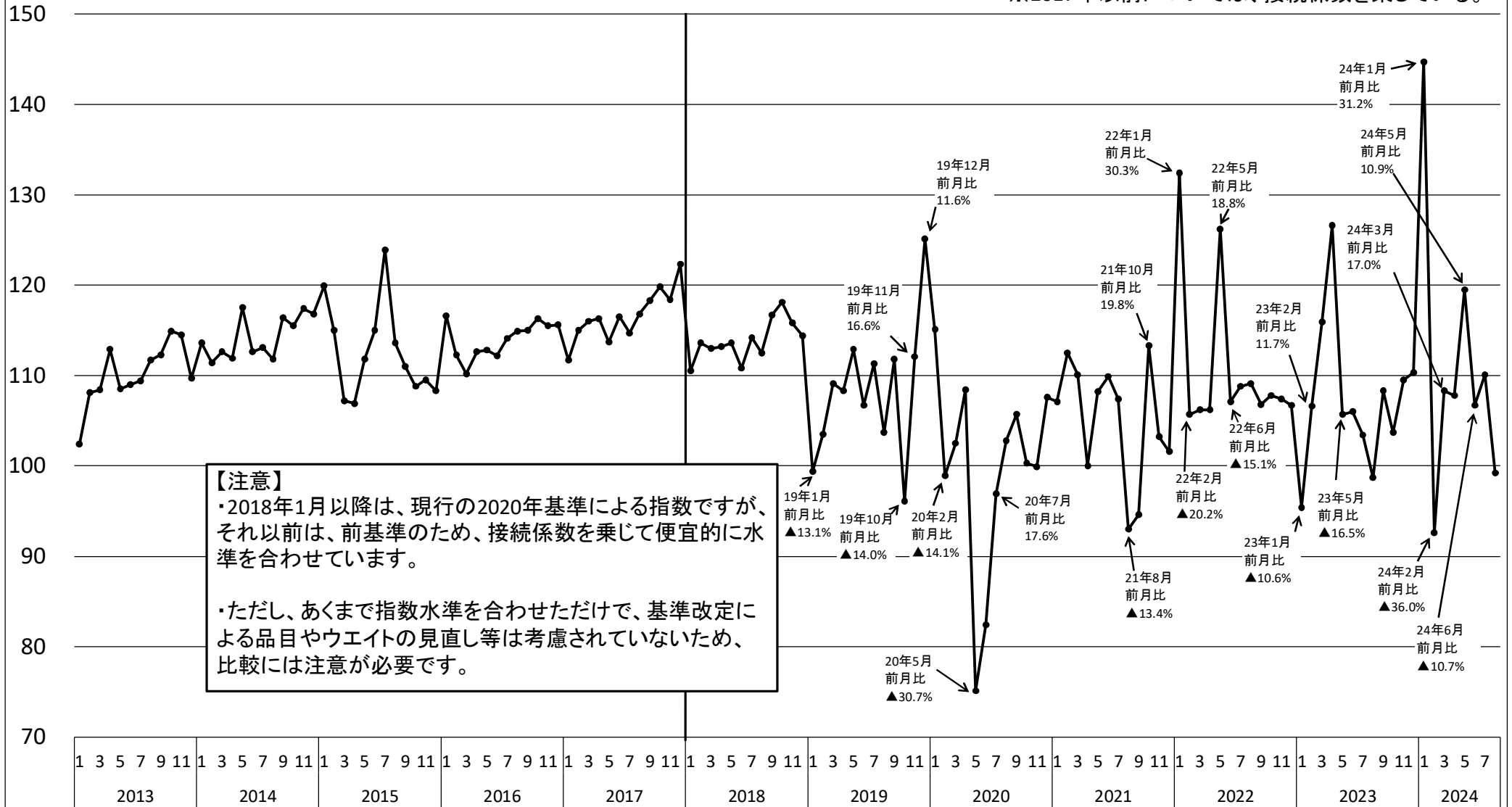
○前月比が最も大きかった業種

		業 種	前月比 寄与度	前月比%	寄与した主な品目
生産	上昇	その他製品工業	0.2	9.1	マーキングペン
	低下	業務用機械工業	▲ 1.0	▲ 35.6	娯楽機器
出荷	上昇	木材・木製品工業	0.0	7.8	製材
	低下	情報通信機械工業	▲ 0.8	▲ 34.6	ボタン電話装置
在庫	上昇	輸送機械工業	0.3	66.3	普通乗用車
	低下	プラスチック製品工業	▲ 5.0	▲ 45.3	プラスチック製機械器具部品

○群馬県鉱工業指数の動き

生産指数(季節調整済)

2020年=100
 ※2017年以前については、接続係数を乗じている。

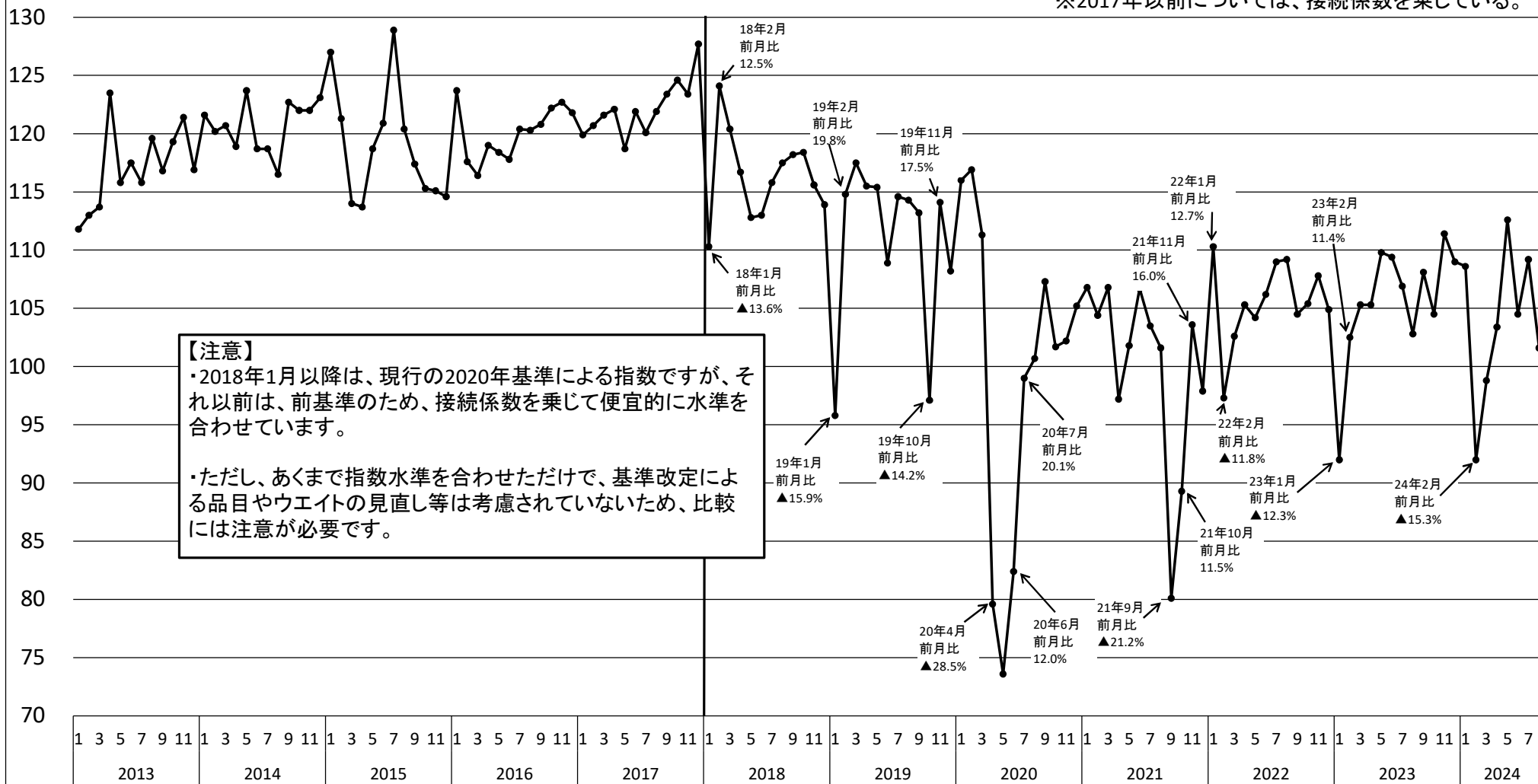


2015年基準: 2013年~2017年 2020年基準: 2018年~2022年 2025年基準: 2023年~2027年(予定)

※2023年以降の指数については、2025年基準改定(2028年度頃実施予定)の際に、2025年基準で遡及して再計算する予定です。2025年の基準改定までは、2020年基準による指数を作成します。

出荷指数(季節調整済)

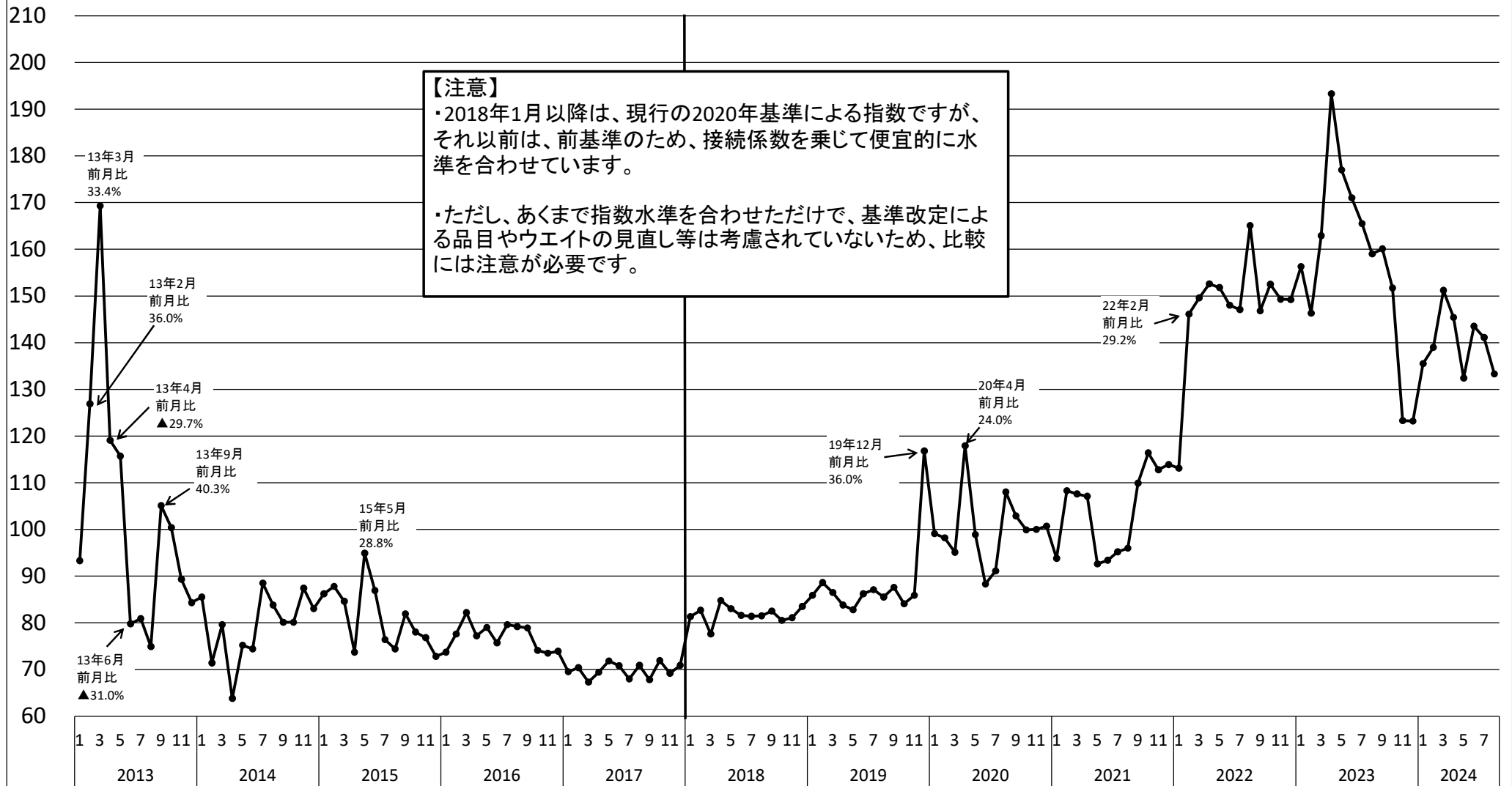
2020年=100
 ※2017年以前については、接続係数を乗じている。



2015年基準：2013年～2017年 2020年基準：2018年～2022年 2025年基準：2023年～2027年(予定)
 ※2023年以降の指数については、2025年基準改定(2028年度頃実施予定)の際に、2025年基準で遡及して再計算する予定です。2025年の基準改定までは、2020年基準による指数を作成します。

在庫指数(季節調整済)

2020年=100
 ※2017年以前については、接続係数を乗じている。



2015年基準:2013年~2017年 2020年基準:2018年~2022年 2025年基準:2023年~2027年(予定)

※2023年以降の指数については、2025年基準改定(2028年度頃実施予定)の際に、2025年基準で遡及して再計算する予定です。2025年の基準改定までは、2020年基準による指数を作成します。

○ 全国・関東経済産業局との比較

2020年=100

